

1. 1 シラバスの目的と利用法

シラバスとは、開講される授業科目の一つ一つについて、科目の目標から、授業時間ごとに学修する項目とその達成目標、さらに予習すべき事項、成績評価の方法、教員の連絡先に至るまで、授業を受けるのに必要な情報をすべて盛り込んだものです。(授業の概要ではありません)

最初の授業の時に担当教員がシラバスを配布して説明しますので、学生諸君はまず以下のことをしっかりと把握して下さい。

- (1) 科目全体の目標とともに、学習上の留意点はどのようなことか。
- (2) 授業がどのように進められて、最終的な評価がどのようになされるのか。
- (3) 「学習・教育到達目標(本科)」(次項1. 2に掲載)のどの目標に関係する科目なのか。
- (4) 4,5年生においては、科目の単位の種別(1. 3「教育課程」で説明)はどれにあたるのか。
- (5) 4,5年生においては、JABEE(日本技術者教育認定機構)基準との関係。

配布されたシラバスは、ポートフォリオのファイルか、ノート等と一緒に保管しておいて、次の授業までに授業項目をチェックし、「予習の内容」を参考に授業を受ける準備を十分にして、授業時間が充実した学習の場となるよう努力して下さい。

なお、今年度から本科の科目にも「ルーブリック」がついているものがあります。これは「授業項目に対する到達目標」、あるいはそれらをまとめた「到達目標」の一つ一つについて「理想的な到達レベル」「標準的な到達レベル」「要学習レベル」が記載されたものです。

学生諸君が授業項目ごとに自分の到達レベルをチェックし、評価することによって学習に役立ててもらうことを目的として導入したものです。まだ、今年度は全ての科目に設定するには至っていませんが、これからは全科目にこのような「ルーブリック」を設定して、学生諸君が到達レベルを自分で確認することで学習を進めていくことを目指していきます。

なお、各科目のシラバスの他に、一般教育科、各専門学科ごとに、以下の項目も掲載されていますので、必ず一読しておいてください。

- 1 教育方針・学習の留意点・資格取得
- 2 教育課程と週当たりの授業時間数表
- 3 教育課程系統図

2016年4月
教務主事

1. 2 学習・教育到達目標（本科）

本校では、養成すべき人材像、および学生が身に付ける学力、資質・能力として、以下の学習・教育到達目標を掲げています。

1. 人類の未来と自然との共存をデザインする技術者
 - 1-a 現代社会を生きるための基礎的知識を身につけ、社会の様々な事柄に関心を持つことができる。
 - 1-b 様々な課題に取り組み、技術と社会との関連に関心を持つことができる。

2. グローバルに活躍する技術者
 - 2-a 日本語の文章の内容を正確に読み取り、自分の考えを的確に表現することができる。
 - 2-b 英語の基本的な内容を正確に理解し、自分の意図を英語で伝えることができる。

3. 創造力豊かな開発型技術者
 - 3-a 専門知識を修得する上で必要とされる数学・物理・化学など自然科学の知識を修得し、それらを継続的に学習することができる。
 - 3-b コンピュータやその周辺機器を利用して文書作成ができ、ネットワークを通して、有用な情報を取得することができる。
 - 3-c 専門分野の学習や工学実験等を通して、専門分野の基礎的な知識を修得することができる。
 - 3-d ものづくりと自主的継続的な学習を通して、創造性を養い専門分野の知識を応用することができる。

4. 相手の立場に立ってものを考える技術者
 - 4-a 技術者の社会的な責任を理解することができる。
 - 4-b 様々な文化、歴史などを通して多様な価値観を学ぶことで、相手の立場に立って物事を考えることができる。

1. 3 教育課程について

教育課程には、一般科目と専門科目の区別があります。それぞれの授業科目は、通年・前期・後期に分かれて授業が行われます。各学年の授業科目や単位数は、各科の教育課程表（別表参照）に示してあります。

単位の種別には、次に示す履修単位と学修単位の2種類の単位があります。シラバスの「教育形態／単位の種別／単位数」の項に記載されています。

なお、1単位時間は基本50分授業ですが、連続90分授業は2単位時間とみなします。

(1)履修単位の科目

30単位時間の履修をもって1単位とする科目です。1～3年生の科目は、すべて履修単位の科目になります。

(2)学修単位の科目

45単位時間の学修（講義＋自学自習）をもって1単位とする科目です。この学修単位については、授業時間と自学自習時間の組み合わせとして、1単位45単位時間の学修を達成できるように、次の2種類の講義を設定しています。ただし、単位取得は60単位が上限となります。

(a)講義Ⅰについて

30単位時間の講義と15単位時間の自学自習をもって1単位とする科目です。

(b)講義Ⅱについて

15単位時間の講義と30単位時間の自学自習をもって1単位とする科目です。

それぞれの学修単位の授業時間と自学自習時間との関係は、シラバスの「週あたりの学習時間と回数」の項目に記載されています。

なお、教育課程表中では、講義Ⅰの科目は単位数に＊を、講義Ⅱの科目は単位数に＊＊を付けて表示しています。

1. 4 授業科目について

授業科目には必修科目、A群科目、B群科目があります。

- (1)必修科目は必ず単位を修得しなければならない科目です。その学年の必修科目を修得できないと進級ができません。5年生では卒業ができません。
- (2)A群科目は、各学科において受講が必要な科目で、受講願いを提出する必要はありません。このA群科目の授業を欠課しますと、欠課時数としてカウントされることになります。
- (3)B群科目は、各学科において自ら選択して受講する科目になります。このB群科目を受講するにあたっては、定められた日まで受講願いを教務係に提出する必要があります。なお、決められた期間中に受講辞退届を出すことで、開講時にさかのぼって受講しなかったものとして取り扱われます。

1. 5 授業時間について

授業時間は、次のとおりです。なおS・H・R（ショートホームルーム）は、担任が出欠の確認や連絡の伝達をする時間です。

授業時間割	
S・H・R	8:40 ~ 8:45
1時限	8:50 ~ 10:20
2時限	10:30 ~ 12:00
昼食	12:00 ~ 13:00
3時限	13:00 ~ 14:30
4時限	14:40 ~ 16:10